

繋げっ！『岐阜消防魂』

～先輩から未来の消防士達へのメッセージ～

消防隊



消防士 成尾 香澄
平成 26 年度採用

【充実した仕事】

私が小学校の頃、実家のマンションで火災が発生しました。何台も連なって現場へ来る消防車や迅速な消火活動をする消防士を見て、カッコいいと思ったことが消防士を目指したきっかけです。

高校に入学し、憧れていた女性の先輩が消防士になると聞いて、女性でもなれることを知り、私もなりたと思いました。

岐阜市消防本部の消防署は、女性職員が隔日勤務をする設備が整っています。また、訓練施設も整っており、先輩方が適切な指導をしてくださるため、充実した生活を送ることができています。一緒に岐阜市を守りましょう!!



消防隊



消防司令補 大島 恵子
平成 8 年度採用

【私の人生】

私は、現在、中消防署に勤務し、主に指揮隊として様々な災害に出場しています。

採用後 7 年間の日勤業務を経て、念願の現場勤務に就くことができ現在に至ります。

厳しい男性社会の中で自分がどれだけ通用するのか、男性と平等に扱って欲しいという気持ちでこの職場を選びました。実際、力や体力の面ではやはり劣りますが、足手まといにならないよう日々努力しています。消防の世界は女性にとって絶対無理な世界ではなく、女性でも生きていく道はあります。現に、私は、予防調査係長として責任ある立場で、火災調査業務に携わっています。

今は女性が勤務できる職場環境も整い、とてもやりがいのある仕事なので、今後女性職員が増えてくれるとうれしいです。



救急隊



消防司令 登 みゆき
平成 7 年度採用

【一緒に頑張れる仲間がいる】

私が、救急救命士として救急業務に就いてから21年目を迎えました。

当初は、現場経験のない無力さに生じた葛藤から私の消防人生が始まり、続いて当本部初の女性職員の結婚・妊娠・出産・育児過程を経験、昇任し救急隊長のポジションを任せられた責任感と重圧感、現在は救急係長として、指導される立場から指導・教育する立場へと更に責任を任される立場になりました。

私の消防人生において、女性職員としての一面、妻としての一面、3人の母としての一面、上手く絡み合っている今の自分がある職場には、上司、同僚、後輩、そして隔日勤務と家庭との両立を支えてくれる家族、すべてが一緒に頑張っている仲間の支えに今の自分があり、頑張れる自分がいると思います。さあ、あなたも一緒に頑張ってみませんか。



救急隊

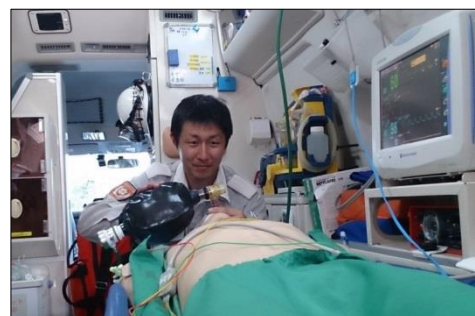


消防士 服部 拓哉
平成 22 年度採用

【救急車に乗っている人も消防士です】

私が、この職業に興味を持ち始めたのは、弟が幼い頃に救急搬送されたことがあり、救急隊員の方が一生懸命声をかけていた姿に感動したのが、きっかけです。調べていくと、救急車に乗っている人も消防士であり、中でも救急救命士の国家資格を持った人がいることを知りました。普通は、消防士に採用されてから学校に入校し資格取得を目指すのですが、私は先に専門学校で国家資格を取得してから、消防に採用されています。

さて、今日も救急車に乗っていますが、救急は他の消防業務と比べると、一番出場回数が多く、一番市民に接し、一番夜眠れない業務だと思っています。ただ、一番お礼の言葉を頂けて、笑顔になる回数が多いのも救急だと思います。消防士に採用されれば、私の感じていることが分かると思うので、ぜひ一緒に乗りましょう。



救助隊



消防司令補 八重尾 吉広
平成 19 年度採用

【オレンジにあこがれて】

岐阜中消防署 高度救助隊 副隊長の八重尾です。私は、現在、救助隊として勤務しており、消火活動はもちろんのこと人命救助を主として活動をしています。

もともと、体を動かすことが大好きで、小さいころから将来は消防士か体育教師になろうと思っていました。

学生時代に培った器械体操で鍛えた体を、人の命を救うために活かしたいという思いと、なんといっても災害現場で活躍する「オレンジ」服を着た救助隊員にあこがれて消防の道を歩むことに決めました。

僕と同じように体を動かすことが好きなあなた！
消防にあこがれを持っているあなた！
人の命を救うために一緒に働きましょう！！



予防業務



消防士長 井藤 香
平成 19 年度採用

【未然に防ぐ】

私は高校を卒業後、小さいころからの夢だった消防へ入りました。

初めは、災害現場へ出場する隔日勤務をしていましたが、今は毎日勤務で予防業務を担当しています。病院や飲食店などへ行き、消防用設備はちゃんと設置されているか？避難に支障となる物は放置されていないか？などを確認し、「火災を予防する」という仕事です。

私自身、火を消すことが消防の仕事だと思っていましたが、今は火災を未然に防ぐことが、消防の任務そのものだと感じています。今、岐阜消防は「予防」に力を入れています。

安全・安心に暮らせる街づくりを一緒にしませんか？



通信指令業務



消防士長 見澤 嘉紀

平成 17 年度採用

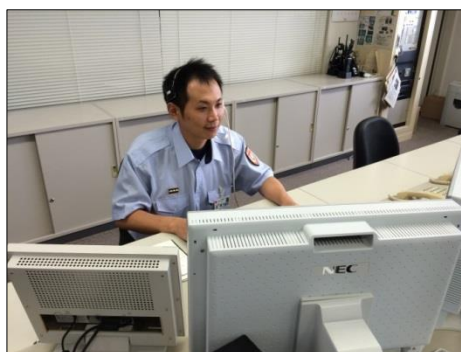
【119 番消防です】

私は、消火活動や救急、救助活動を行う隔日勤務、また、訓練や行事の企画等の事務を行う毎日勤務をこなし、12年目になります。

本職を志したきっかけは、消防士だった父の背中を幼少期から見て育った影響が大きかったと思います。

現在は、指令課で119番の受付や出動指令等を行う実務を担当しています。相手が見えない中、正確な場所や状況を聞き出す大変さや、電話で応急処置を伝える難しさ等がありますが、指令業務は、全ての活動において最初の災害対応であり、市民からの通報に対し正確に対応し、安心感を与えるという大変重要な仕事だと思います。毎日が充実し、やりがいのある職業です。

是非、私たちと一緒に災害から市民を守りましょう。



総務業務



消防士長 大山 季明彰

平成 20 年度採用

【今、消防士を志す皆さんへ】

『災害から国民の生命、身体及び財産を守ることを任務とする』これほど崇高な使命を帯びた職業が他にあるでしょうか。

私が消防吏員を拝命したのは9年前。小学生のころ、あるテレビドラマを見て心惹かれ、憧れた消防の職に就きました。拝命してからは消防隊、救助隊、救急隊など最前線の現場を経て、現在は消防総務課で現場を支える事務を中心とした業務にあたっています。

消防と一口に言っても、災害現場で命を守る業務もあれば、私たちのように陰から岐阜市の安全安心を支える業務もあります。しかし、消防の使命は一つであり、消防の任務は消防士にしか遂行できません。誇りある消防の任務を皆さんと共に遂行できる日を楽しみにしています。

